

タイトル: あきらめな心、が夢をかなえる

会社名: 横田鋼業(株) 氏名: イルファンセティヤワン

出身国: インドネシア

みなさん、はじめまして。

私の名前は、イルファン・セティヤワンです。歳は25才です。二年前にインドネシアから日本に来ました。現在、横田鋼業で実習生二号として働いていて、主に、工場で鉄骨の柱やはりの組み立てをしています。入社当時は、図面を読むことができなかったのですが、課長と一緒に組み立てをしながら教えてもらい、少しずつ理解できるようになりました。今では、私が教える立場になり、後輩と一緒に組み立てをしています。むずかしいけれど、楽しく仕事をしています。

では、なぜ私が日本で働くことを決めたのか。

すべては、学校にいた時に始まりました。当時、私には大きな夢がありました。自分でやきとりのレストランを建て、経営することです。

しかし、私はまずしい家庭に生まれたのでその夢をかなえるために、一生懸命働かかけ

TODA MIRAI FOUNDATION

タイトル: あきらめない心が夢をかなえる

会社名: 横田鋼業(株) 氏名: イルファンセティヤワン

出身国: インドネシア

ればなりませんでした。そこで私は日本で働くことにしました。これが、日本語を学ぶ私の旅のはじまりです。

学んだことを書いて、書いたことを見ずに思い出するのは、最初はずかしいと思いましたが。でも、私には「あなたが経験していることにこんな人を感じれば、それはあなたの人生を変える可能性がある」という人生のししんがあります。むずかしいと感じるということは、日本語を学ぶことで、私の人生が変わるということです。

コロナのパンデミックが起こった時、誰もがこんな人を感じ、不満を言っていました。が、コロナはかならず終息すると信じていました。そして、ついに日本に來ることができました。はじめは、文化・季節が私の国とちがい、てまどいました。が、一ヶ月働くと少しずつ新しいかんきょうにもなれてきました。

会話は、インドネシアで学んだ知識をいかしていましたが、私の話している言葉に何か違

TODA MIRAI FOUNDATION

タイトル: あきらめなし心が夢をかたえる

会社名: 横田鋼業(株) 氏名: イルファン セチャワン

出身国: インドネシア

和感を感じました。私が学んだ日本語のほと
んどは職場では使用されず、会話を理解でき
ませんでした。

入社して二年がたち、私は日本語をだいたい
話せるようになりました。私の職場には、イ
ンドネシア、フィリピン、ベトナムの三カ国
の実習生がいるので、コミュニケーションを
とるには、日本語がとても大切です。まだ、
私の言う事を理解してもらえないことがある
ので、これからも努力し続けまう。

実習生が日本で長く働くためには、何が必
要か考えてみました。

まず、日本の政府や会社のサポートが必要
です。これには職場での暴力のけつじょと適
切な賃金が含まれます。

以前、実習生が同じ職場の日本人に暴力を
受けるというニュースを見ました。とても悲
しい気持ちになりました。絶対にあってはい
けないことだと思えます。

インドネシアでは、頭をさわることは失礼

TODA MIRAI FOUNDATION

タイトル: あきらめない心が夢をかなえる

会社名: 横田鋼業(株) 氏名: イルファン セティヤワン

出身国: インドネシア

にあたるので知っていてほしいです。

日本で長く働くためには、私自身の努力も必要です。日本の政府や会社ゆめあたるルールに適用する能力です。自分自身を成長させ、仕事に関するスキルや知識を向上させることで、職場の回りよりとバランスをたもつことができます。そして、チームへのこうけんにつながりまします。目標を達成するためには、チーム全員がこうけんすることが非常に重要だと考えています。

それが、日本で長く働き続けるために、一番必要なことなのかもしれません。ただ、お金を追うのではなく、スキルと考え方を磨く必要があります。

「努力し続けられれば、なんでもかなう」

夢をかなえるために、決してあきらめません。

みなさん、これから私と一緒にがんばりましょう。そして、夢をかなえましょう。

TODA MIRAI FOUNDATION